

須田の米作りから学ぼう

「地域」を知るために身に付ける力 … おきかえる つなげる

5年生の社会科の学習では、私たちの暮らしを支える産業について学習します。3年生では「食生活を支える人」に視点があるのに比べ、「人から仕事へ」と視野を広げていきます。須田小5年生は、「須田の米作り」から食生活を見つめ直す学習をしてきました。

わかっているようでわからない米作り

米作りをしっているようで知らないことがたくさんあることがはっきりとしました。

そこで、須田小校区にお住まいの間さんが代表をされている「ロータス北潟」の皆さんやJA南蒲の皆さんから指導を受けながら米作りを行うこと。



田植えの仕方を学ぶ

2学期…情報と「情報」を「つなげる」

5月10日(金)晴天。ほとんど田植え発体験の子どもたちは、素足で田んぼに入ることや田んぼの中を歩くことにも一苦勞。



田植え体験

目印に合わせ植えるだけなのに…。その後、実際に機械植えも見学しました。

須田米から学んだ「収穫」 … 学びをつなぐ

4つの学習テーマで調べたことも「収穫」!

11月15日(金)、お世話になった間さん、保護者を招いての収穫祭で発表しました。収穫米を使った「おむすび」を、お汁と一緒に召し上がっていただきました。4つのテーマ(『お米の一年間』『米の品種』『お米の始まり』『米作りの進化』)で学習発表をしました。

収穫感謝と学習発表



間さんからとてもよく調べていて素晴らしいと、お褒めの言葉をいただきました。

「一粒の米」の大切さ つなげる

9月13日(金)晴天。田植えの時と同様に指導を受け稲刈り体験をしました。手作業での腰の痛みと機械化の利便性は、田植え体験と重なります。さらに、一粒の米から始まった米作りは、最後の



稲刈り体験

一粒の米まで大切に作る「落ち穂拾い」に続きます。

食生活を支える日本農業の特色につながります。

カレンダーで「須田米」発信! … 伝える

最後に、一年間、米作りを通して教えていただいたり、調べたりして学んできたことをもとに、ふるさと須田の米作りのカレンダーを作っていきます。

日本の農業の特色を、須田の米づくりから伝える活動へとつなげていきます。



お米お先生 間さんと集合写真